

2026年度 O-40 神奈川リーグ兼 2027年度 JFA 第15回全日本 O-40 サッカー大会関東大会神奈川県予選会

運営要項細則【運営マニュアル】

1.登録手続き（運営要項 第8条・第9条関連）

(1)登録資格の限定

2018年度より、全国ルールに準じ「シニア登録選手」のみが出場可能となった。

「第1種（社会人）登録選手」の出場はできない。

(2)単独チームでの参加

2019年度より、全国ルールに準じ、本リーグへの参加は「単独チーム」に限る。メンバー表に登録する選手は、全員が同一の JFA 登録チームに所属していなければならない。

※同一選手が複数のカテゴリーのチームへ重複して登録することを禁止する。したがって、O-40 カテゴリーのチームに登録済みの選手は、年齢要件（50歳以上）を満たしていても、O-50 カテゴリーのチームに登録することはできない。

(3)選手の追加登録

選手追加登録の際は、以下の二つの書類を一緒にメールに添付し、シニア部会宛に送付すること。

●提出書類

▷ 【様式3】（選手追加登録申込書）

▷ 承認済み Web サイトの選手情報（PDF）

●提出期限

土曜日のリーグ戦に出場させる（新しいメンバー表を発行する）ためには、当該週の火曜日までに送付すること。

※水曜日以降の申請は、公平性保持のため原則としてメンバー表の発行を翌週に回すものとする。

2.入替戦および順位決定戦について（運営要項 第11条・第12条関連）

(1)選手補強の制限

リーグ最終戦から入替戦までの追加登録（補強）は、1シーズンを戦ってきたメンバーでの対戦を原則とし、追加登録は最大3名までとする（2022年12月運営委員会確認）。

(2)累積警告の扱い

1部・2部入替戦、および2部順位決定戦において、同年度リーグ戦の累積警告による出場停止処分は適用しない（繰り越さない）（2023年3月運営委員会確認）。

(3)退場処分（一発退場等）の扱い

一発退場による出場停止処分については、シニア部会の判断で出場停止試合数を決定して通知する。次の公式戦で履行されるまでその効力は継続する（入替戦、順位決定戦、次年度リーグ戦に反映）。

3.試合実施上の注意事項（運営要項 第12条関連）

(1)試合進行の基本ルール

- 試合後の挨拶：実施しない（円滑な進行のため）。
- ハーフタイム（5分間）：当該チームの控え選手のアップのみ可とし、次試合チームのピッチ内アップは認めない。

(2)夏季対策と飲水タイム

- 試合の実施制限（7～8月）：9時～16時（昼間時間帯）キックオフの試合は実施しない。
- 飲水タイム：試合時間に含めず（アディショナルタイムに算入しない）、以下を基準に実施する。
 - ▷通常時：必要に応じて実施する。
 - ▷6月～9月：原則、前後半1回ずつ実施する。
- WBGT（暑さ指数）による対応（6月～9月）
 - 試合開始30分前およびハーフタイムにWBGTを計測し、試合結果報告書兼領収書に記録すること。
 - ▷28℃超：飲水タイムを前後半2回ずつ設ける。
 - ▷31℃超：関係者（両チーム代表、インスペクター、審判員）で協議し、実施可否を判断する（試合開始時刻の遅延は不可）。

(3)雷発生・負傷等による中断と試合成立基準

各試合の中止、中断、および再開に伴う対応は、当該試合の割り当て時間内で完結させ、次試合の定刻開始を妨げないよう終了させることを基本とする。

●雷発生時の対応

- ・雷鳴・雷光が確認されたら、試合を即中断し、安全な場所へ待機すること。（試合の中断）
- ・雷活動停止から10分程度観察し、安全確認がとれた場合のみ試合再開する。
 - 中断後の再開可否判断基準（時間制限）
 - ▷前半途中での中断は、次試合の開始時刻までに前半を終了可能な場合のみ再開し、前半終了をもって試合を打ち切る。
 - ▷後半途中での中断は、残り時間が不足するため、原則として再開させない。
 - 試合の成立・不成立（再試合）基準
 - ▷試合開始前／前半途中での中止は、不成立（再試合）とする。
 - ▷前半終了後／後半途中での中止は、成立（中止時点のスコア・記録を適用）とする。
- 深刻な傷病者発生時の対応
 - ・傷病者の手当、処置を最優先とし、選手、審判員へのリスペクトを怠らないこと。
 - ・次試合は定刻開始を厳守すること。

▷深刻な傷病者発生により応急手当や救急搬送等の原因で中断時間が全試合時間の3割（15分）

を超えた場合は不成立（再試合）とする。

●中止時の審判員への支払

現場判断でキックオフ前に中止した場合は交通費（2,000円）、キックオフ後は規定の審判謝礼を支払う。

(4)緊急時の事務連絡

●中止・中断等の発生時：ホームチーム（インスペクター）は直ちに運営委員長へ電話連絡し、事後遅滞なく【様式6】にて報告すること。

●重大な負傷事案発生時：速やかに運営委員で情報共有し（了解を得て状況写真を添付）、再発防止に努めること。

4.ユニフォーム規定（運営要項 第12条関連）

(1)色の選択

ホームチームは登録済みのユニフォーム色（【ホームチームのユニフォーム一覧】）を着用し、アウェイチームは見分けやすい色を選択して着用する。組み合わせが不適切な場合は両チームで協議して決定する。（現場での最終決定権は主審にある）

(2)シャツのインナーウェア

チーム内で統一されていれば、シャツと異なる色の着用を認める。ただし、異色の場合は「全員着用」を必須とする。同色の場合は、長袖・半袖、着用の有無の混在を認める。

(3)パンツのインナーウェア（タイツ）

チーム内で統一されていれば、パンツと異色を認める。ただし、異色の場合は「全員着用」を必須とする。同色の場合は、着用・不着用の混在を認める。

(4)黒のタイツ（特例）

黒色に限り、パンツと異色かつチーム内で不統一であっても着用を認める。ただし、黒以外の色のタイツを着用している選手との混在は認めない。

【インナーウェアに係る事例解説】

●シャツとインナーシャツ(アンダー長袖)

事例	インナー	選手A	選手B	選手C	判定	備考
1	インナー	無し	無し	無し	OK	全員がインナー着用無し
2	インナー	無し	同色	無し	OK	一人だけシャツ同色インナーを着用
3	インナー	無し	異色	無し	NG	一人だけシャツと異色のインナーを着用
4	インナー	無し	同色	異色	NG	シャツ同色と異色のインナーが混在
5	インナー	同色	同色	同色	OK	全員がシャツ同色インナーを着用
6	インナー	異色	異色	異色	OK	全員がシャツと異色のインナーを着用
7	インナー	同色	同色	異色	NG	シャツ同色と異色のインナーが混在

●パンツとタイツ(コンプレッションタイツを含む)

事例	タイツ	選手A	選手B	選手C	判定	備考
1	タイツ	無し	無し	無し	OK	全員がタイツ着用無し
2	タイツ	無し	同色	無し	OK	一人だけパンツ同色タイツを着用
3	タイツ	無し	異色	無し	NG	一人だけパンツ異色タイツを着用
4	タイツ	無し	黒	無し	OK	一人だけパンツ異色の黒タイツを着用
5	タイツ	無し	同色	黒	NG	パンツ同色と黒タイツが混在
6	タイツ	同色	同色	同色	OK	全員がパンツ同色タイツを着用
7	タイツ	異色	異色	異色	OK	全員がパンツ異色タイツを着用
8	タイツ	黒	黒	黒	OK	全員がパンツ異色の黒タイツを着用
9	タイツ	同色	同色	黒	NG	パンツ同色と黒タイツが混在

(1)画像・映像の撮影

以下のルールを遵守することを条件に試合の撮影を許可する。

●撮影前の手続き

試合開始前に「主審」「対戦相手の責任者」「本部役員（インスペクター）」へ撮影の許可を得ること。

●撮影場所と機材の管理

▷試合会場施設の注意事項に従う。

▷チームベンチ内からの撮影は一切禁止とする。

▷選手・審判員・本部役員の動線を妨げない位置で行うこと。

▷写真撮影（スチール）のカメラマンは、試合中の移動を禁止とする。

▷三脚を設置する場合、必ず「ビブス着用」の担当者を 1名配置し、常時管理すること。

●データの取り扱い（重要）

▷撮影データの共有はチーム関係者間のみとする。

▷SNS等への拡散・公開は固く禁ずる。

▷審判の判定に対する異議申し立てや証拠としての利用は不可とする。

(2)ベンチ入りの制限

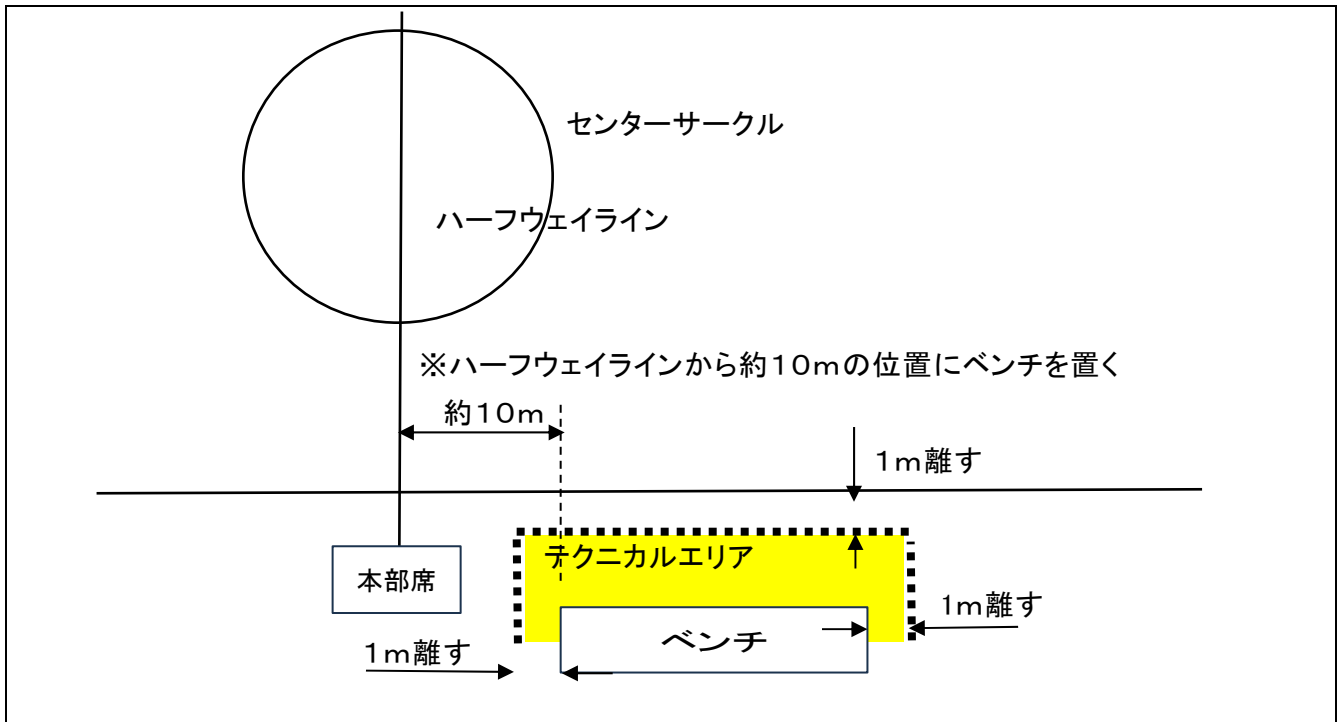
ベンチに入れる者は「メンバー表に記載の登録選手」及び「役員欄に記載された監督やコーチ等」のみとする。子供の同伴は危険を伴うため認めない。フェンス等で囲まれた会場の場合はフェンス外で待機させること。

(3)テクニカルエリアの設定

設置可能な試合会場では、ベンチ周囲にテクニカルエリアを設置する。

※ベンチが固定されている場合は、会場に合わせて適宜適切に設定すること。

【テクニカルエリアの設定方法】



(4)ベンチからの指示

ベンチから立ってテクニカルエリア内で指示を出せるのは常時 1 名のみとする。指示終了後は速やかに着席すること。(テクニカルエリア内でのマナー)

6.各担当の役割 (運営要項 第 13 条関連)

(1)ホームチームの対応

●審判謝礼の準備

審判員への謝礼を封筒に入れ用意する。受渡し確認のため封筒にはチーム名を明記する。(主審 5,000 円、副審 4,000 円×2 名)

(2)対戦する両チームの対応

●試合会場準備

会場のルールに従い、ゴール、コーナースタック、本部 (テーブル・椅子)、ベンチ、テント、テクニカルエリア等の設置を行う。

●試合前の準備

▷30 分前：メンバー表を相手チーム及び審判員 (本部) に提出する。

▷30 分前：試合球を審判員に提出する（時間厳守）。※原則、リーグ支給の共通試合球を使用。

▷10 分前：所定の場所に集合し、交代選手も含め用具チェックを受ける。

▷5 分前：両チームキャプテンはコイントスを行い、先発選手はピッチに入場する。

●試合会場の片付け

最終試合の両チームで協力し、用具の撤収・片付け、更衣室・シャワー室の清掃、忘れ物確認を行う。

(3)本部役員の対応

●事前準備（※第 1 試合の担当のみ）

▷審判員への事前連絡

試合前日までに割り当てられた審判員（主審・副審 2 名）に電話し、試合時間・会場・対戦カードを確認する。（※不在等で連絡が取れない場合は SMS も可。必ず返信を確認すること）審判割当表はシニア部会から担当本部役員チーム宛てにメール送付する。

▷必要書類の準備

「試合結果報告書兼領収書」にチーム名等を記入・印刷し、ホッチキスで綴じて当日持参する。

●試合前

▷現地到着：試合開始時刻の 20 分前（第 1 試合の担当は 30 分前）までに到着する。

▷説明：審判員へレギュレーション説明を行う。（【審判員への説明資料】を活用）

▷引継ぎ：前試合の本部役員から「試合結果報告書兼領収書」を受け取る。本部役員チーム名／氏名を記入する。

▷審判員が記載する項目を余裕のあるタイミングで記入依頼する。（受領サイン以外）

▷預かり・借用：

- ・ホームチームから審判員への謝礼を預かる。
- ・両チームから試合球とメンバー表を預かる。
- ・用具チェック済みの審判員からメンバー表を借用する。

●試合中（【選手交代手順】参照）

▷記録：選手交代をメンバー表に記録する（交代選手の照合と記録）。

▷用具チェック：交代選手の用具チェック等の手順を実施する。

●試合後

▷書類の完成：審判員確認のもと、書類にスコア、警告・退場の選手氏名と理由を記載する。

▷謝礼の引渡し：審判員に謝礼を渡し、受領印（またはサイン）をもらう。

▷相互確認：対戦両チーム代表に記載内容の確認を求め、サインをもらう。

▷引継ぎ・報告

- ・次の試合がある：次試合の本部役員へ書類を引き継ぐ。
- ・**最終試合担当**：全試合の結果（写真）を当日中に運営委員長（岩崎）宛てにメール報告し、書類一式を翌日に投函する（投函報告推奨）。

7.リーグ参加と撤退（運営要項 第15条関連）

(1)新規加入

次年度に新規加入を希望するチームは、シニア部会が指定する期間内に申し込むこと。運営委員会で審査を経て、承認されたチームの加入を認める。

(2)次年度の継続参加および脱退の届出

次年度の継続参加、または当該シーズン終了をもって脱退を希望するチームは、シニア部会が指定する期間内に所定の書式（継続・脱退届）を提出すること。

(3)シーズン途中の撤退

シーズン途中での撤退は原則として認めない。

8.その他（遵守事項）

本リーグ戦において使用する各試合会場の利用規則および会場側が定める注意事項を必ず遵守すること。違反があった場合は、シニア部会の指示に従い、必要に応じて処分の対象となることがある。

以上

発行元：2026年度 O-40 神奈川リーグ兼 2027年度 JFA 第15回全日本 O-40 サッカー大会関東大会神奈川県予選会運営委員会